まもる、つたえる、いかす

公益財団法人 古都大宰府保存協会 40周年 記念式典・記念講演

40th anniversary

日時　平成２６年７月１９日（土）
１３時３０分 ～ １７時

会場　プラム・カルコア太宰府　市民ホール
（太宰府市中央公民館）

司会進行　徳永玲子さん（フリーアナウンサー）

入場無料・申込不要

第１部　記念式典（13:30 ～ 14:20）

第２部　記念行事（14:30 ～ 15:20）

「大きな支えに感謝して～ボランティア活動の紹介～」

「まほろば探検隊（水城小学校６年生）による
学習成果発表」

第３部　記念講演（15:30 ～ 17:00）

大宰府跡のこれまでとこれから

講師：赤司善彦（あかしよしひこ）さん
（福岡県教育庁総務部文化財保護課長）

公益財団法人古都大宰府保存協会

〒818-0101　太宰府市観世音寺四丁目６－１
TEL/（092）922-7811　FAX/（092）922-9524
E-mail　info@kotodazaifu.net
HP アドレス　http://www.kotodazaifu.net

公益財団法人古都大宰府保存協会

設立趣旨

太宰府地方における歴史的風土及び文化財の保存・活用を図ることを目的として、昭和４９年７月「財団法人古都大宰府を守る会」として設立されました。当協会が行う事業を通し、多くの人々に史跡に関わって頂くとともに、常に身近に史跡を感じ、史跡や文化財を守り伝えていくことの大切さを知っていただくことをめざしています。

沿革

昭和 49 年 7 月	「財団法人古都大宰府を守る会」設立
昭和 55 年度	大宰府展示館開館。事務所を大宰府展示館に置く
昭和 63 年	大宰府発掘 20 周年記念事業開催
平成 2 年度	大宰府展示館開館 10 周年記念事業開催
平成 6 年度	財団設立 20 周年記念式典並びにシンポジウム開催 財団名称を改称「古都大宰府を守る会」から「古都大宰府保存協会」へ 福岡県より「教育文化功労賞」受賞
平成 12 年度	文化庁より文化財保護法施行 50 年を記念して「文化財保護功労賞」受賞
平成 16 年度	財団設立 30 周年記念式典並びに記念行事開催
平成 20 年度	大宰府史跡発掘調査 40 周年記念事業
平成 26 年度	公益法人制度改革による移行認定申請において、公益法人の認定を受け「公益財団法人古都大宰府保存協会」となる。

活動内容

■史跡の保存・活用事業
史跡整備地の維持管理・万葉植物の植栽 （ボランティアによる）

■史跡・文化財の広報普及事業
ボランティア大宰府史跡解説員による史跡の案内
ボランティア大宰府史跡解説員の養成

■太宰府市文化遺産調査事業
文化遺産調査ボランティアによる文化遺産調査活動

■大宰府展示館の管理運営
常設展・企画展の実施

■公益財団法人古都大宰府保存協会　会員事業
機関誌「都府楼」･会報「古都たより」の発行
研修旅行の実施（日帰り 1 回･宿泊 1 回）
会員総会の実施

■「太宰府検定」事業
「太宰府検定」実行委員会事務局

ボランティア

史跡解説ボランティア「大宰府史跡解説員」

大宰府史跡解説員は公益財団法人古都大宰府保存協会の委嘱を受けたボランティアで、昭和 58 年 4 月から昭和 60 年 3 月に開催された九州歴史資料館 10 周年記念「大宰府アカデミー」の受講生から昭和 60 年 3 月 18 日に誕生しました。太宰府市を訪れる方々や在住の方々に対して「大宰府のすばらしさを多くの方々に伝えたい」という熱い思いを持って日々活動しています。財団が主催する「史跡めぐり」講座での解説や、個人やグループ・学校から依頼がある解説、また大宰府展示館・太宰府館の来館者に対して展示の解説を行っています。
現在 63 名の解説員で活動を行っています。

万葉植栽ボランティア「ゆづるはの会」

太宰府市には、市域面積の約 17 パーセントを占める貴重な史跡地がありますが、公有化されたものの未整備のままの状態の土地に、ゴミが放置されるなどの事態が生じたこともありました。そこで、その史跡地を有効に活用し、また歴史の散歩道をたどる人々が、大宰府政庁などが建っていた頃の野山の風景を少しでも想像していただけるようにと、平成 7 年 7 月から「万葉の花講座」を開催し、万葉植物の勉強をし、実際に苗を植え始めたのがこの会の始まりです。平成 21 年度よりこの会の名称を「ゆづるはの会」としました。史跡地に彩りを添え、季節ごとに変わる万葉の草花を市民や観光客の方に楽しんで頂いています。

太宰府市文化遺産調査ボランティア

文化庁による『文化財総合的把握モデル事業』において、太宰府市がその実施団体に選ばれ、事業の一部を保存協会が受託したことをきっかけとして、この事業に関わっていただくボランティアを平成 20 年に募集し、活動が始まりました。市内外のボランティアの方々が、市内に 7 つある小学校区を基本に、日田街道・四王寺山・東ヶ丘・御笠川を加えた 11 の班に分かれて調査を行い、'まちあるき' を始めることにより、それにつながる、モノ・コト・ヒトに注目しながら「調べ」「伝え」「見守る」活動を行っています。この事業を通し、社会全体での文化財の継承を目指しています。これまでに 4700 件を超える文化遺産が記録されています。

記念講演会

記念講演会

演題
大宰府跡のこれまでとこれから

講師プロフィール

赤司 善彦（あかし よしひこ）

1957 年生まれ
福岡県教育庁文化課、九州歴史資料館、九州国立博物館を経て、現在、福岡県教育庁文化財保護課課長

まほろば探検隊

記念行事

水城小学校　まほろば探検隊

水城小学校では毎年 6 年生による「われら、まほろば探検隊」という総合学習が行われています。この授業は、子供たちが太宰府市にある史跡などについて資料やインターネットを使って調べて、探検コースを作り、実際に出かけ、最後に見たこと、感じたこと、分かったことを発表するというものです。

まずは子どもたち自ら考えるコース作りから。一緒に同行してもらう大宰府史跡解説員さんからその道順やバスの乗り方などの助言をしてもらい、いざ探検へ！
『太宰府の歴史や文化を学ぶことによって太宰府のすばらしさを知り、ふるさとを大切にする気持ちを持って欲しい』と願い子ども達に解説をしてくださっている解説員さんの話を熱心に聞きながら、それを調べ、まとめます。今回、保存協会 40 周年の記念行事において、まほろば探検隊のみなさんに、その成果を発表してもらいます。子ども達が見て調べた「太宰府」。どうぞお楽しみに。